

# 2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年8月13日

上場会社名 Retty株式会社

上場取引所

東

コード番号 7356

URL http://corp.retty.me/ 代 表 者 (役職名) 代表取締役 執行役員CEO (氏名) 武田 和也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務・経営企画部部長 (氏名) 長井 寛徳 TEL 03(6822)4880

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無

: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

# 1. 2025年9月期第3四半期の業績(2024年10月1日~2025年6月30日)

### (1)経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利	益	経常利	益	四半期純	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	1, 227	6. 2	0	_	△4	_	△6	_
2024年9月期第3四半期	1, 155	△2. 1	△92	_	△95	_	△98	_

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	△0. 45	_
2024年9月期第3四半期	△6. 59	_

# (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	922	320	34. 4
2024年9月期	1, 067	314	29. 3

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 317百万円 2024年9月期 312百万円

# 2. 配当の状況

- : HD 1100						
		年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	
2024年 9 月期	_	0.00	_	0.00	0.00	
2025年9月期	_	0.00	_			
2025年9月期(予想)				0.00	0.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

# 3. 2025年9月期の業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	1, 698 8. 7	29 —	18 —	16 —	1. 08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

# ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

# (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年9月期3Q	14, 981, 674株	2024年9月期	14, 910, 374株
2025年9月期3Q	19, 521株	2024年9月期	19, 521株
2025年9月期3Q	14, 922, 542株	2024年9月期3Q	14, 893, 015株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無 法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報
	(1) 経営成績に関する説明
	(2) 財政状態に関する説明
	(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明
2.	四半期財務諸表及び主な注記
	(1) 四半期貸借対照表
	(2) 四半期損益計算書
	(第3四半期累計期間)
	(3) 四半期財務諸表に関する注記事項
	(継続企業の前提に関する注記)
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
	(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)
	(四半期貸借対照表関係)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
	(セグメント情報等)
3.	その他
	(1) 継続企業の前提に関する重要事象等

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

当期において、日本の経済環境に関しては、緩やかな回復基調となりました。また、同時に飲食業界の景気も、外食支出の回復や、インバウンド需要の影響により回復傾向にある一方で、原材料価格上昇やヒューマンリソースの不足等、今後の飲食店の経営環境に関しては厳しい材料が残存しております。この様な状況下、飲食店支援サービスについては、当第3四半期累計期間である2024年10月から2025年6月においてお店会員数(固定+従量)は、一部残存していた解約率の高い特定代理店経由での店舗の整理も進み、7,003件から7,151件に増加しております。また2023年9月期より取り組んでいる販売商品戦略の変更や商品のリニューアルにより、LTV(※)の高い商品の販売比率が増加し、中長期的な売上向上に資する取り組みが着実に進んでおり、ARPU(月額固定支払いのあるお店会員の平均支払価格)は増加傾向を継続しております。さらに、ネット予約数の増加に伴い従量課金による売上が増加しており、飲食店支援サービスの売上は、当第3四半期累計期間に関しては、前年同期比で増加しております。

上記の結果として、当第3四半期累計期間における売上高は飲食店支援サービス922百万円、広告コンテンツ304百万円、計1,227百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

費用面では、売上原価は381百万円(前年同期比10.1%増)、販売費及び一般管理費は845百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

また、助成金収入等により営業外収益0百万円(前年同期比82.2%減)、支払利息等により営業外費用5百万円(前年同期比8.6%減)を計上しております。

上記の結果として、当第3四半期累計期間における営業利益は0百万円(前年同期は92百万円の営業損失)、経常損失は4百万円(前年同期は95百万円の経常損失)、四半期純損失は6百万円(前年同期は98百万円の四半期純損失)となりました。

当社は実名型グルメプラットフォーム「Retty」運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(※)「顧客生涯価値」を意味するLife Time Valueの略称。飲食店 1 件当たり、当社と取引を開始してから終了するまでの期間にどれだけの売上をもたらすかを表す指標のこと。

# (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は802百万円となり、前事業年度末に比べ189百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少247百万円によるものです。また、当第3四半期会計期間末における固定資産は120百万円となり、前事業年度末に比べ44百万円増加いたしました。これは主に、ソフトウェアの増加63百万円によるものです。

上記の結果として、総資産は922百万円となり、前事業年度末に比べ145百万円減少いたしました。 (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は260百万円となり、前事業年度末に比べ69百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少21百万円及び賞与引当金の減少21百万円によるものです。また、当第3四半期会計期間末における固定負債は341百万円となり、前事業年度末に比べ81百万円減少いたしました。これは、長期借入金が81百万円減少したことによるものです。

上記の結果として、総負債は601百万円となり、前事業年度末に比べ151百万円減少いたしました。 (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は320百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円増加いたしました。 これは主に、当第3四半期累計期間において四半期純損失6百万円を計上したことにより利益剰余金が6百万円 減少したこと、ならびに資本金及び資本準備金がそれぞれ5百万円増加したことによるものです。

# (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月12日に「2024年9月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました通期の業績予想に変 更はありません。

# 2. 四半期財務諸表及び主な注記

# (1) 四半期貸借対照表

		(単位:千円)
	前事業年度 (2024年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	660, 314	413, 307
売掛金	196, 634	185, 777
契約資産	-	8, 384
立替金	37	22
前払費用	147, 444	214, 140
その他	8, 743	8, 841
貸倒引当金	△21, 328	△28, 398
流動資産合計	991, 847	802, 075
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	23, 822	20, 116
減価償却累計額	△8, 445	△5, 729
減損損失累計額	△14, 803	△13, 308
工具、器具及び備品(純額)	572	1, 078
有形固定資産合計	572	1, 078
無形固定資産		
ソフトウエア	-	63, 452
ソフトウエア仮勘定		6, 769
無形固定資産合計	<u> </u>	70, 222
投資その他の資産		
破産更生債権等	9, 618	11, 224
長期前払費用	44, 092	17, 881
敷金及び保証金	12, 983	12, 983
繰延税金資産	17, 234	17, 234
その他	69	69
貸倒引当金	△8, 765	△10, 226
投資その他の資産合計	75, 231	49, 166
固定資産合計	75, 804	120, 466
資産合計	1, 067, 651	922, 542

		(単位:千円)
	前事業年度 (2024年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	44, 511	23, 194
1年内返済予定の長期借入金	129, 296	110, 445
未払金	47, 859	44, 497
未払費用	11, 684	20, 792
未払法人税等	2, 290	1, 717
預り金	11, 700	20, 380
前受収益	8, 413	3, 899
賞与引当金	42, 402	20, 892
受注損失引当金	-	458
その他	32, 369	14, 293
流動負債合計	330, 526	260, 570
固定負債		
長期借入金	422, 520	341, 070
固定負債合計	422, 520	341, 070
負債合計	753, 046	601, 640
純資産の部		
株主資本		
資本金	33, 560	39, 299
資本剰余金	971, 658	977, 398
利益剰余金	△692, 146	△698, 800
自己株式	△248	△248
株主資本合計	312, 823	317, 649
新株予約権	1, 781	3, 252
純資産合計	314, 605	320, 901
負債純資産合計	1, 067, 651	922, 542

# (2)四半期損益計算書 (第3四半期累計期間)

		(単位:千円)
	前第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1, 155, 512	1, 227, 017
売上原価	346, 612	381, 591
売上総利益	808, 899	845, 426
販売費及び一般管理費	901, 579	845, 156
営業利益又は営業損失 (△)	△92, 679	269
営業外収益		
助成金収入	2, 687	479
償却債権取立益	407	51
その他	<u> </u>	20
営業外収益合計	3, 095	550
営業外費用		
支払利息	5, 683	4, 651
固定資産除却損	122	61
助成金返還損	-	1,043
その他	493	-
営業外費用合計	6, 299	5, 755
経常損失(△)		△4, 935
特別損失		
減損損失	504	-
特別損失合計	504	-
税引前四半期純損失(△)	△96, 387	△4, 935
法人税等	1,717	1, 717
四半期純損失 (△)	△98, 105	△6, 653

### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)該当事項はありません。

### Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

2025年3月7日を払込期日とする従業員に対する譲渡制限付株式としての新株式の発行71,300株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ5,739千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金は39,299千円、資本剰余金は977,398千円となっております。

### (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実 効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積 実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しておりま す。

### (四半期貸借対照表関係)

### (当座貸越契約)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら 契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年 9 月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)
当座貸越極度額の総額	700,000千円	700,000千円
借入実行残高	44, 511	23, 194
差引額	655, 489	676, 806

### (四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	-千円	4,496千円

### (セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

当社は、実名型グルメプラットフォーム「Retty」運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### 3. その他

# (1) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は飲食店から収受する定額のサービス利用料が主な収益となっております。前事業年度においては解約率の高い特定代理店の整理が進み、最重要KPIであるお店会員(固定+従量)プランにおける有料お店会員店舗数は当第3四半期累計期間でも増加しております。一方で、いまだお店会員店舗数が力強く増えていく状態にはなく、その結果として前事業年度の売上高は2023年9月期との比較において0.4%の減少となり、またそれに伴い前事業年度累計では営業損失及び当期純損失を計上しております。また当第3四半期累計期間においては、0百万円の営業利益を計上したものの、前事業年度まで継続して営業損失を計上していることを鑑み、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在すると判断しております。

当社は、当該状況の解消または改善のために、以下のような対応策を講じております。

### ① 飲食店支援サービスの売上純増

上記の通りお店会員(固定+従量)プランにおける有料お店会員店舗数が増加していることや高単価商品比率の増加等のLTV改善施策を継続していることから、飲食店支援サービスに関しては、当第3四半期累計期間において売上が前年同期比で増加しております。当社は今後も飲食店支援サービス売上増加を推進していく為に営業体制の拡充や高単価商品比率増加によるLTV改善を引き続き実施していくことで当事業年度での通期黒字化を目指して参ります。

### ② コストコントロールの継続

2023年度9月期において実施した、オフィス移転による賃料の減少及び退職による自然減や他社への出向による人件費削減により、固定費を大きく削減しております。当社としては引き続きこの筋肉質なコスト体制を維持することで早期黒字化を達成しやすい状態を目指して参ります。

上記対応策により、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。